

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和63年	根拠法令・例規等	備前市保健センター設置条例
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	
	小項目	施策	23	生涯を通じた健康づくりの推進	
事務事業名		13	保健センター管理運営事業		
		問	担当課(室)	保健課	
		合	職・氏名	健康係長・江見清人	
		先	電話	64-1820	
		このシート作成に要した時間			時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	乳幼児健診、がん検診、健康教室、献血等の各種保健事業を利用する市民	
目的(何のために)	生活に密着した対人保健サービスを総合的に実施し、市民の健康づくりを推進する	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	対人保健事業サービスの拠点として有効に活用する	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
保健センター管理運営事業	備前市民の生活に密着した保健サービスを総合的に提供し、健康づくりを推進している。健康相談、保健指導、栄養指導、健康診査、各種検診等の保健事業を実施している。	◎	
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	1,606	1,779	1,525
	必要人員	人	0.05	0.08	0.15
	事業費計	千円	2,003	2,467	2,939
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	2,003	2,467	2,939	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	人	7,598	7,921	7,815
	対前年比	%	-	104.3%	98.7%
	活動コスト	円	2,003,000	2,467,000	2,939,000
	単位当たりコスト	円	264	311	376

事業の成果						(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
		目標値 (A)				
		実績値 (B)				到達目標値
		達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
利用人数を結果指標とすることはできるが、事業費は健康係の庶務事業費であり、両者から成果を判断することはできない。また、健康増進は質的な要素が高いことから、利用人数増で単純に計ることはできない。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低 B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低 B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低 C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	本来の使用目的である保健事業の利用実績を保持しながら、利用者の利便性を図る。						

総合評価		総合評価
保健事業サービスを提供する拠点および市庁舎の一部(会議室等)としての役割を果たしている。予算措置を伴う維持管理については、平成19年度から財政課による本庁舎との一元管理とし、より効率化を図っている。今後とも、本来の使用目的である保健事業での利活用を推進していく。事業重複時の駐車場確保も含め、利用者の利便性の向上が課題である。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低 B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	保健センターで実施する各種保健事業の積極的PRを図る。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな